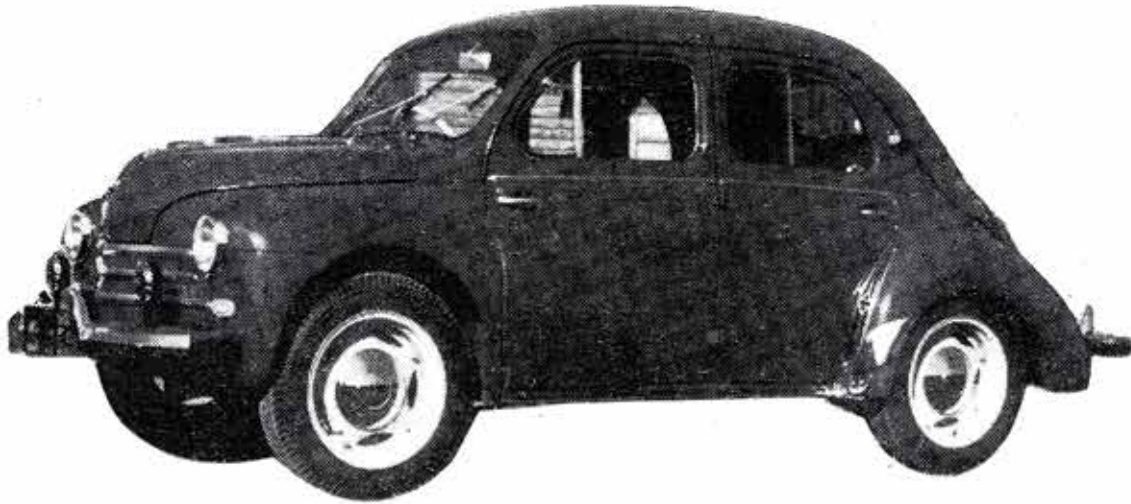


ルノー-日野PA型構造図解



〔第1図 ルノー-日野PA型〕

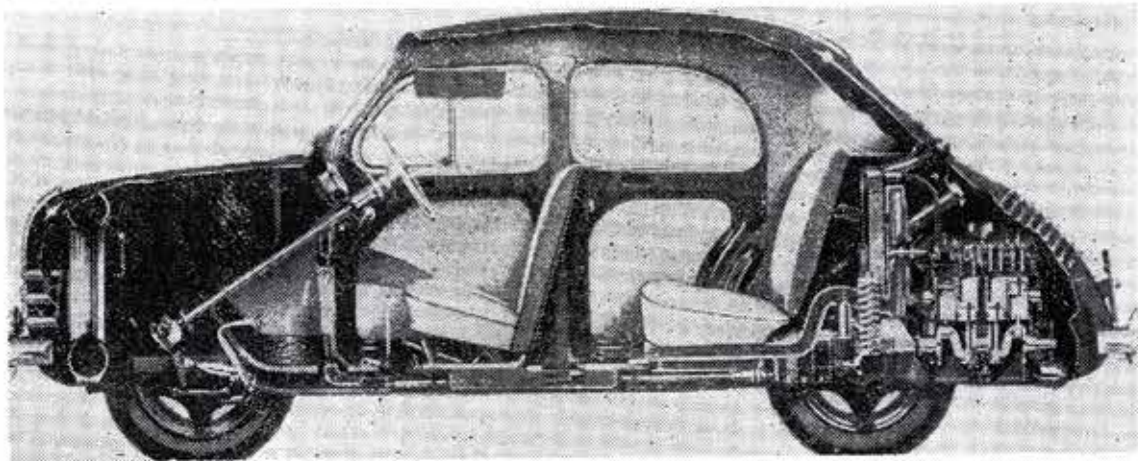
フランス・ルノー (RENAULT) 公団の傑作、ルノー4CV (4CVはフランスに於ける課税馬力) についてはすでに馴染み深い存在であり、日野ディーゼルによつて国産化を計り既に2年半、半ば以上の国産化を終え更に100%の国産化を目指して進みつつあることも御承知の通りである。

ルノーの特長

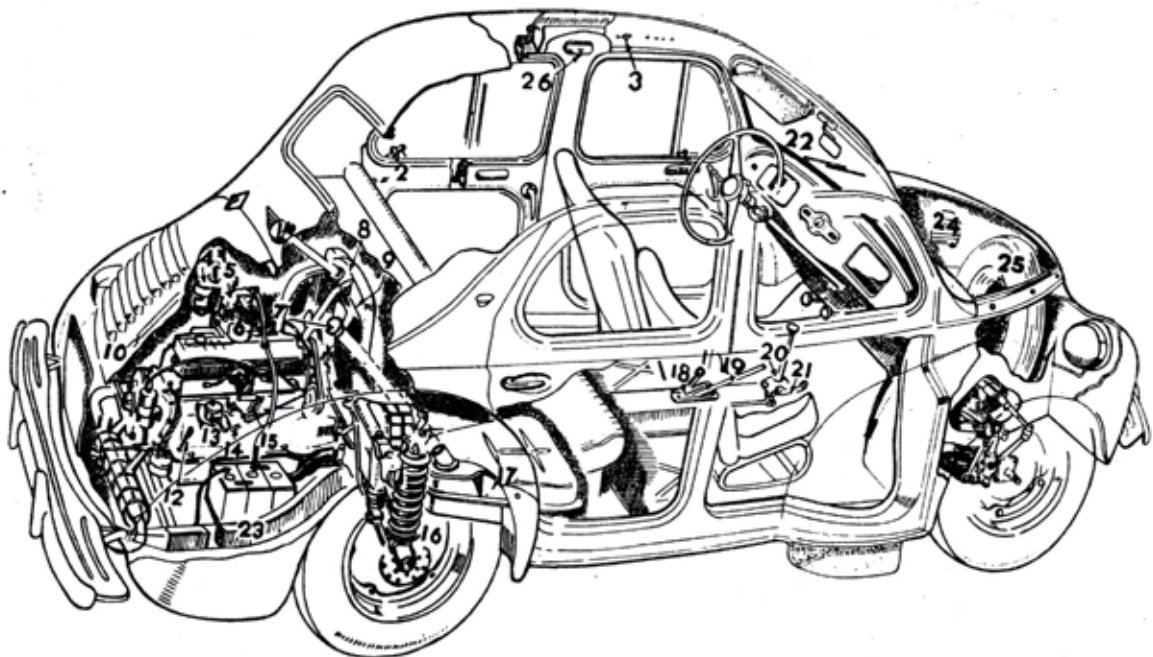
ルノーは機構的にも多くの特長を備えた自動車である。

その第一にあげられるものは経済性、勿論それも単に経済的であると云うことではなく、優秀な性能を備えた上での経済性である。このことはドイツのフォルクスワーゲン、イタリーのフィアットと共にフランスを代表する国民車と云われることからもうなずけよう。

モノコック構造の軽快小型のボディ、これにふさわしいリア・エンジン方式、前後輪の独立懸架、等々斬新な設計により、限られた大きさに於て、乗用車として要求される種々の問題を解決している。



〔第2図 縦断面〕



第3図 1. ラジエータキャップ 2. 内側ドア鏡 3. ラジエータカーテンのリング 4. エアクリナー
5. 気化器 6. オイル注入口 7. 燃料タンクキャップ 8. ラジエータ 9. 温度計 10. 発電機 11. 点火
コイル 12. オイルレベルゲージ 13. 燃料ポンプ 14. 油圧計スイッチ 15. デストリビュータ 16. ス
プリング 17. 燃料タンク 18. スターターレバー 19. 手動ブレーキ 20. ギアレバー 21. チョーク
コントロールレバー 22. 暖気取入口 23. バッテリー 24. ブレーキ油タンク 25. スペアタイヤ 26. 室内灯

ボ デ ィ

フレーム構造のボディは独特のスタイルをもっており、流麗な線はさすがフランスである。サイド・パネル、ルーフ・パネル等の各部分に分けられプレス加工されて来たものをスポット・ウェルディングにより組立てるのであるが、ボディのプレスも近く国産化される予定である。塗料はすでに国産品が使用せられ好評のようである。

ラジエータへの通風はリア・フェンダの付根に設けられた空気取入口から行い、前部ボンネット内部はスペア・タイヤ及び荷物入れになっている。

サ ス ペ ン シ ョ ン

前後輪ともコイルスプリングによる四輪独立懸架方式が採用されているのが大きな特長である。ショックアブソーバは複動テレスコピック式のもの四輪ともに装備されている。

なお左右の安定を計るため前方にトーションバーが用いられている。

エ ン ジ ン

水冷式直列4気筒O.H.Vエンジンをリア・シート後部に装備してある。同じリア・エンジン方式を採用している

フォルクスワーゲンとよく比較されるが、ワーゲンの強制空冷に対しルノーは水冷式を採用しているのが対照的である。

総排気量748cc 21馬力/毎分4000回転 圧縮比7.25 ボア×ストロークは54.5mm×80mmでストロークの大きい事が目立つ。シリンダは着脱式ウェットライナ方式である。

トランスミッション

変速機は前進3段後退1段で、1速及び後退がスライディングギア、2速3速がシンクロメッシュとなっている。ギア比は第1速3.7(24.8km/h)第2速1.85(49.6km/h)第3速1.07(86.4km/h)後退3.7である。

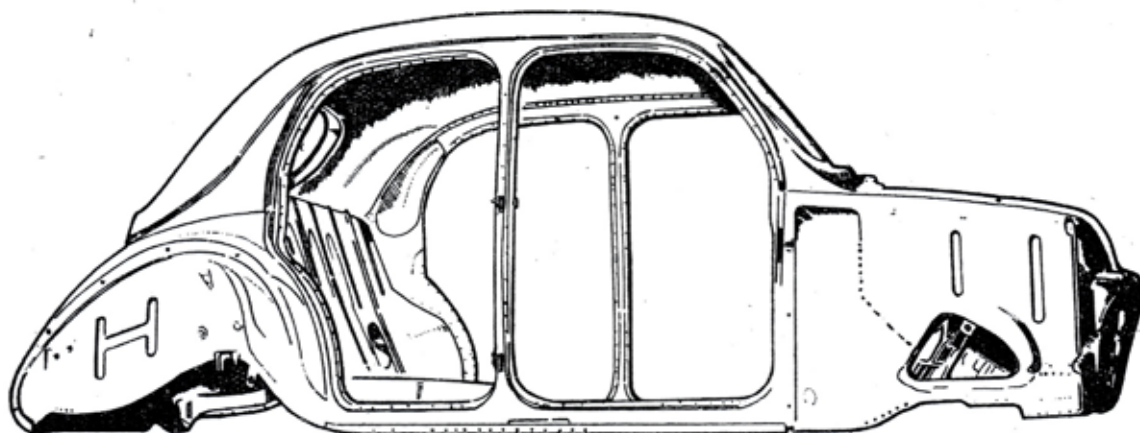
車体寸法は次の通り。

ホイールベース 2100mm トレッド(前後共) 1210mm 全長 3840mm 全幅 1430mm 全高 1440mm 最低地上高 180mm 車輦重量 605kg。

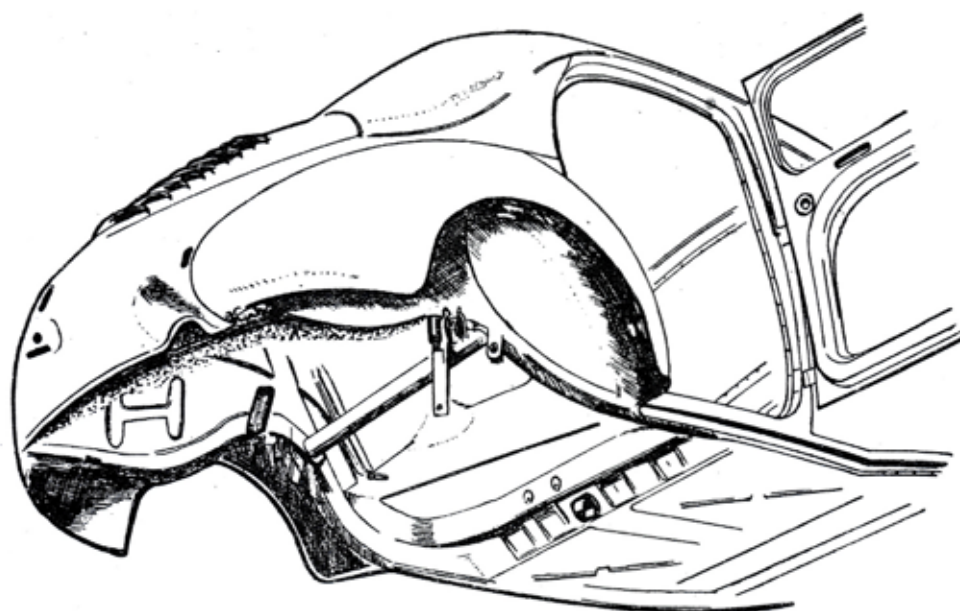
変速操作はミッションが後部にあるため勿論リモートコントロール方式が用いられている。

そ の 他

国産化に当つては日本の国情により適したものとするため多少細部の変更も行われている。例えば平均速度がフランス程出せぬ日本に於ては充電不足とならぬよう、ダイナ



第4図
フレーム
レスボディ



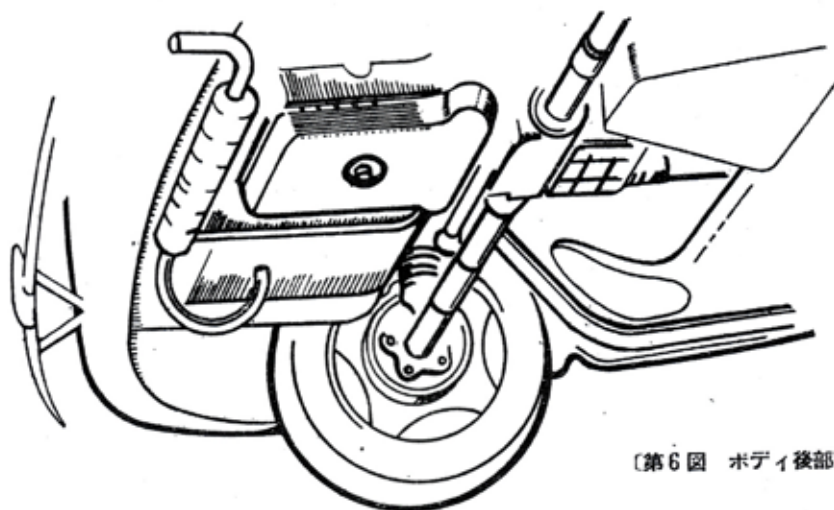
第5図
ボディ後
部の構造

モの出力を大きくし
バッテリーの容量も大
きくなっている。

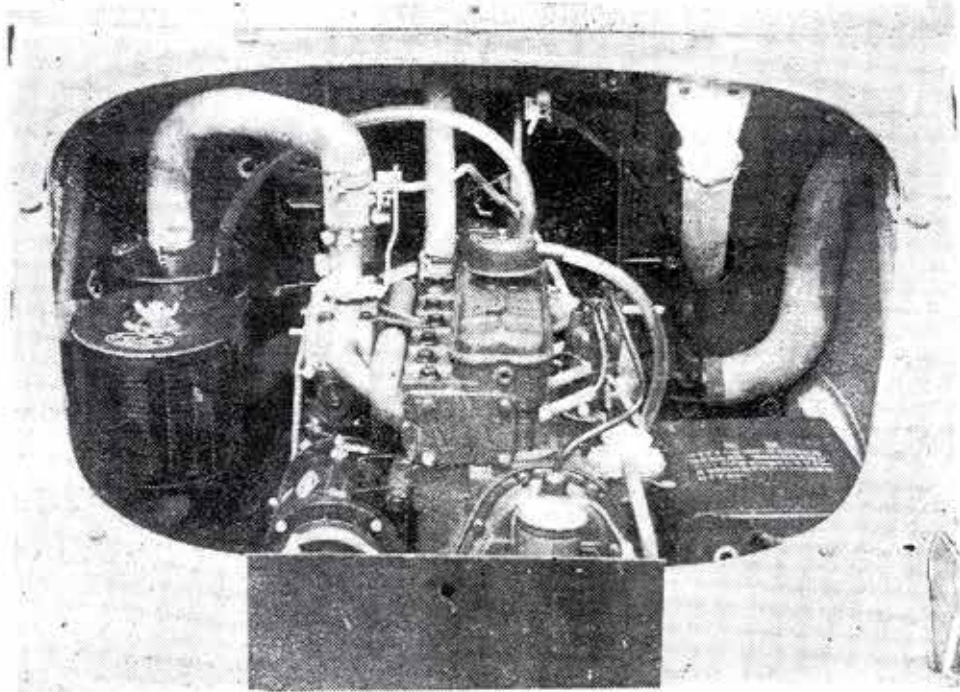
なおシート、内張
アクセサリ等を特別
に作ったデラックス
型も製作されている。

一般性能

最高速度 100km/h
燃料消費量ガロン
当り70~80km
最小回転半径 4.2m

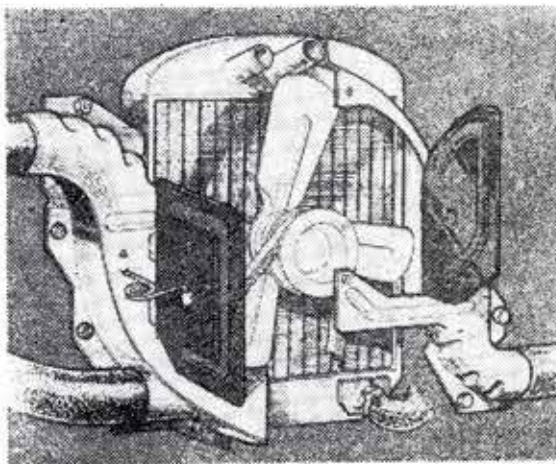
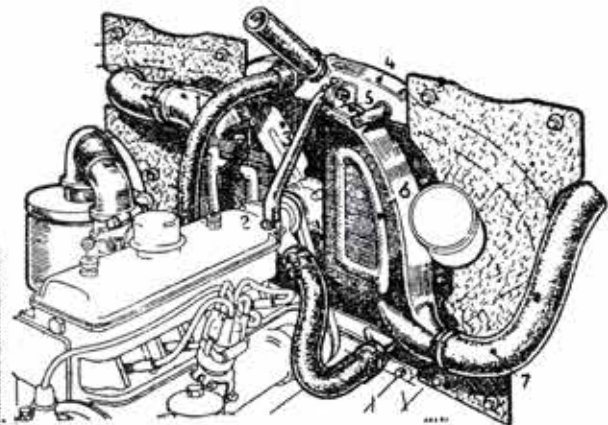


〔第6図 ボディ後部下面略図〕

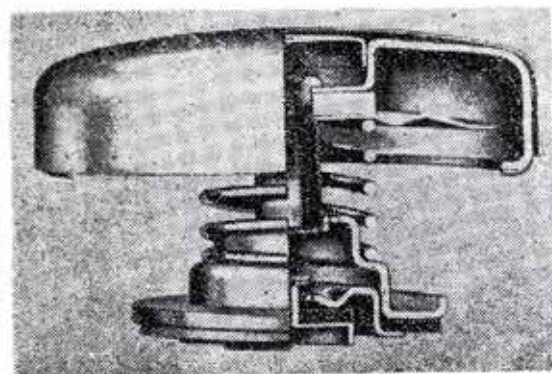


第7図
エンジン部外観
(ボンネットを
開けたところ)

第8図 エンジンまわりの機構
1. 左通風管 2. 左側遮閉板 3. ファン
4. ラジエータ 5. 右側遮閉板取付部 6. 右
側遮閉板 7. 右通風管



第9図 暖房装置
ファンの周囲のフラップは簡単に開閉が出来、
ラジエータを通る暖かい空気はフラップを閉じ
れば直結されたパイプにより車内に送られる。
ラジエータシャッターの開閉は温度計に合わせ
て調節可能。



第10図 ラジエータ加圧装置 ラジエータに圧力を加
えることにより水温は通常沸点以上となり、エンジ
ンの効率を良くし冬期の暖房装置も効果的に行われる。